

■鹿ノ子ダム管理支所からお知らせ■

ダムの放流警報・水位低減効果について

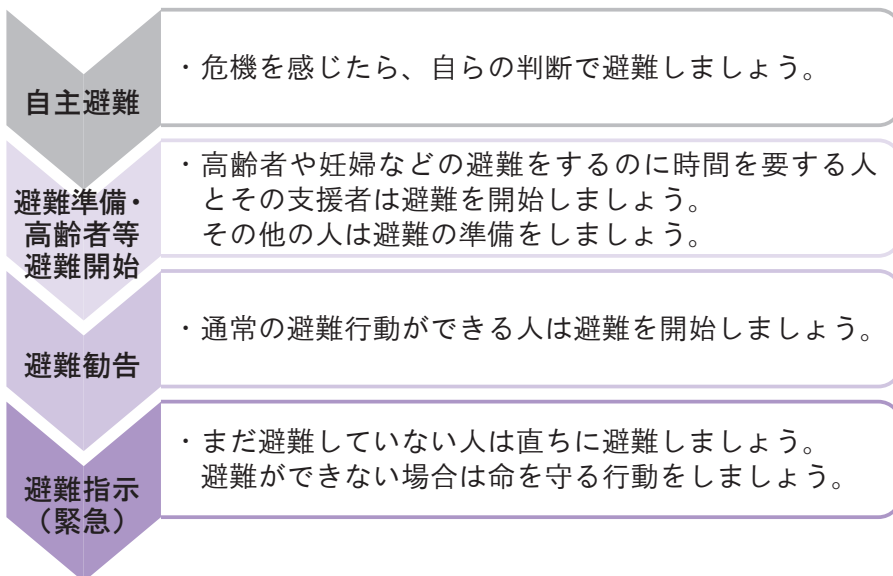
今年は例年より台風の発生件数が多くなっているようです。鹿ノ子ダムでは、台風等で大雨となった場合、ダムに流入する水量の一部をダムに貯め込んで、下流に流す水量を低減させる洪水調節という操作を行います。流入量が増加すると、普段の利水放流管からの放流から洪水調節用ゲートに切り替え、放流量を徐々に増加させます。このようなときには、関係機関（置戸町では役場、消防支署）に1時間前に通知します。また、常呂川沿いに設置されている警報局から、その地点の水位が上昇すると認められる約30分前からアナウ

ンスとサイレン（繰り返し5回）で、お知らせしますので川に近寄らないようお願いします。

ー昨年8月の連続台風のときは、この洪水調節の操作により、ダムの最大流入量毎秒120トンのとき8割をダムに貯め込み、常呂川の置戸の水位を約20センチ低減させる効果がありました。当時、置戸町では避難勧告を発令していましたが、仮にダムが無ければ、氾濫の危険性が高いとされる「氾濫危険水位」を上回る出水となったと想定しています。鹿ノ子ダム及び置戸の水位の情報は、スマホ・パソコンから「河川リアルタイム」で検索して「北海道開発局河川リアルタイム情報の常呂川」で見ることができます。

備え2 気象情報と避難情報を知る

■避難用語と気象情報を知る



気象情報は常に確認を！

大雨などの災害が予想されるとき、気象庁は注意報を発表します。災害に備えた早めの準備をしましょう。

さらに重大な災害の発生のおそれがある場合は、警報を発表します。避難情報に注意し、必要に応じ避難しましょう。

特に重大な災害が予想される場合に発表されるのが特別警報です。必ず適切な命を守る行動をしましょう！

■町が発信する避難情報を知る

町が発信する避難情報や緊急的な気象情報などは、防災行政無線の放送や情報メールおけとのメール配信で知ることができます。しかし、放送が届かない地域にお住まいの方や天候によって放送が聞きとりづらい場合もあります。携帯電話やスマートフォンをお持ちの方は、情報メールおけとを利用登録し、いち早く情報を入手し安全な行動をとりましょう。

○防災行政無線の支局設備（拡声スピーカー）設置場所

- ・置戸地区 役場庁舎、南ヶ丘公園

- ・勝山地区 勝山公民館
- ・秋田地区 秋田住民センター
- ・境野地区 境野市街地（境野交流センター付近）

「風が強く放送が聞こえなかった」など放送を聞き逃した場合は、次の番号に電話をすることで放送した内容を聞くことができます。

テレホンサービス

☎67-5355

※通話料がかかります。ご了承ください。

